



番組収録終了後、富塚市長の掛け声で「がんばろう田村、がんばろう福島、がんばろう東北!!」のエール。会場が一体となった瞬間でした。



大越町の鈴木イツ子さん。トップバッターで、365歩のマーチを熱唱。



予選会には朝早くから165組が行列。ジャンケンでの110組が選ばれました。



軽妙な語り口で会場を盛り上げてくださった徳田章アナウンサー。



快晴の日曜日。特産品などの販売コーナーも盛況。



船引町生活研究グループの皆さん。本番でも明るい笑顔で会場をなごませてくれました。



出場者最年長は、船引町の渡辺聡さん。

復興への願い、 歌声に乗せて——。

東日本大震災からの復興を歌と笑顔で盛り上げる「NHK 歌おう！東北のど自慢」の公開収録が6月19日、元気な田村復興支援事業として市総合体育館で行われました。

早朝から市内外の出場・観覧希望者が長い列を作り、出場希望者165組がジャンケンで110組に絞られ、予選会に進み、さらに厳正な審査の結果、15組が選ばれ本番に臨みました。

本番では、15組の皆さんがそれぞれ復興への思い、避難されている知人へのメッセージなどを歌に込めて熱唱。香西かおりさんをゲストに迎え、司会のNHK徳田章アナウンサーの軽妙かつ温かい言葉をつづった進行で、会場は笑いと感動に包まれ、収録終了まで素晴らしい一体感に包まれました。

3月13日には、NHKのど自慢の生中継が行われる予定だった田村市…。

誰もが予期せぬ大震災の影響でやむなく中止になってしまいましたが、この日、富塚市長の掛け声で、会場に訪れた約1,200人全員で、震災に負けないぞと互いにエールを送りました。また、会場内に設置された応援メッセージには、大勢のかたが復興への希望、互いを励ますたくさんの熱い思いが寄せられたほか、昨年の猛暑を思い起こさせるような暑い一日だったにもかかわらず、特産品販売コーナーも盛況でした。

(表紙は本番で見事合格した、船引町の遠藤明美さんです)

